

プログラム

シンポジウム 1

7月28日(金) 13:10～14:50

S1 新たな手法を用いた発達神経毒性・生殖発生毒性評価への挑戦

座長：青山 博昭（一般財団法人残留農薬研究所）

桑形麻樹子（国立医薬品食品衛生研究所毒性部）

S1-1 新たな手法を用いた発達神経毒性・生殖発生毒性評価への挑戦：イントロダクション

青山 博昭 一般財団法人 残留農薬研究所

S1-2 ゼブラフィッシュを用いた評価：新たな in vivo イメージング評価法の開発を目指して

西村 有平 三重大学大学院 医学系研究科 統合薬理学

S1-3 ヒト iPS 細胞を用いた発達神経毒性ガイドランスと今後の展望

○諫田 泰成、安彦 行人

国立医薬品食品衛生研究所 薬理部

S1-4 ウズラ胚を用いた生殖発生毒性評価手法の開発 —新たな鳥類 OECD テストガイドラインの提案—

川嶋 貴治 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康領域 環境リスク科学研究推進室

S1-5 新生 DNT 委員会のこれから

桑形麻樹子 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部

オーガナイザー：則武 健一 (株式会社サンプラネット)

河村 佳徳 (バイエル薬品株式会社)

片桐 龍一 (中外製薬株式会社)

ES-1 中枢神経系の発生と発達

佐藤 真^{1,2)}

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 解剖学講座 (神経機能形態学)

2) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 心の発達神経科学講座 (分子生物遺伝学)

ES-2 神経発達症の遺伝的要因と環境要因

柳橋 達彦 自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科

ES-3 胎生期又は幼若期の薬物投与によるラットの行動異常

峯島 浩 大塚製薬株式会社 安全性研究部

特別講演 1

7月29日(土) 8:40～9:40

座長：小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)

天野 孝紀 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

SL-1 網羅的遺伝子解析とマウスモデル解析による遺伝性疾患の病態解明

才津 浩智 浜松医科大学 医学部 医学科

海外招聘講演 1

7月29日(土) 9:40～10:40

座長：黒坂 寛 (大阪大学歯学部附属病院矯正科)

綾部 信哉 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

IL-1 Mouse Models to Decipher Human Developmental Disorders

Lydia Teboul

The Mary Lyon Centre at MRC Harwell, Harwell Campus, OX11 0RD Didcot, Oxon, UK

海外招聘講演 2

7月29日(土) 10:50～11:50

座長：八田 稔久 (金沢医科大学医学部解剖学 I)

古瀬 民生 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

IL-2 The interplay between genetic background, diet and litter size effects on meiotic recombination during spermatogenesis

Elena de la Casa-Esperon

Regional Center for Biomedical Research (C.R.I.B.) and School of Pharmacy, University of Castilla-La Mancha, Albacete, Spain.

LS マウスを用いた疾患候補遺伝子変異の機能的解析と臨床応用

高橋 智 筑波大学 医学医療系 生命科学動物資源センター

奨励賞受賞講演

7月29日(土) 13:40 ~ 14:10

座長：宇田川 潤 (滋賀医科大学解剖学講座生体機能形態学)

桑形麻樹子 (国立医薬品食品衛生研究所毒性部)

AL-1 蝶形骨の初期形成過程：ヒト胚の微細構造に対する3D形態解析の試み

宇都宮夏子^{1,2)}

1) 京都大学大学院 医学研究科 形成外科学

2) 京都大学大学院 医学研究科 先天異常標本解析センター

AL-2 口蓋裂発症メカニズムの解明 口蓋癒合後の離開による口蓋裂の発症について

佐久間千里^{1,2)}

1) 愛知学院大学 歯学部 口腔先天異常学研究室

2) 愛知学院大学 歯学部附属病院 口唇口蓋裂センター

一般優秀演題

7月29日(土) 14:10 ~ 14:50

座長：澤田 和彦 (つくば国際大学 医療保健学部 保健栄養学科)

鈴木 寿人 (筑波大学 医学医療系 臨床医学域)

P-3 新規トリプルノックインレポーターシステムを用いたマウス原腸胚における三胚葉形成の評価系の確立

○鈴木 颯、村田 知弥、大徳 陽子、谷本 陽子、水野 聖哉、
杉山 文博

筑波大学 医学医療系 トランスポーター医学研究センター 生命科学動物資源センター

P-7 ゼブラフィッシュ胚における頭部神経堤細胞のライブイメージングと発生動態に基づく催奇形性発現機序の解析

○劉 舒捷¹⁾、河西 通²⁾、島田 敦子²⁾、葭原 啓太¹⁾、池田 直弘¹⁾、
額田 祐子¹⁾、山根 雅之¹⁾、宮澤 正明¹⁾、武田 洋幸²⁾、田崎 純一¹⁾

1) 花王株式会社安全性科学研究所

2) 東京大学大学院 理学系研究科生物科学専攻

P-16 精巢機能障害の高感度検出に資する小動物用 MRI を用いた非侵襲的画像診断法の開発

○横田 理¹⁾、平井 俊範²⁾、菅 康佑¹⁾、若山 友彦²⁾、宮宗 秀伸³⁾、高橋 祐次¹⁾、北嶋 聡¹⁾

- 1) 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部
- 2) 熊本大学大学院 生命科学研究部
- 3) 国際医療福祉大学 医学部

P-27 幹細胞内耳発生系を活用した新規発生毒性試験の予備的検討

○岡本 優、熊本 隆之

奥羽大学薬学部

シンポジウム 2

7月29日(土) 15:00 ~ 16:30

S2 若手ピックアップシンポジウム

座長：才津 浩智（浜松医科大学医学部医学科）

駒田 致和（近畿大学理工学部生命科学研究部発生生物学研究室）

S2-1 DHX9は神経発達症の原因である：未診断患者の変異解析とショウジョウバエ・マウスを用いた検証

山田茉未子 慶應義塾大学 医学部 臨床遺伝学センター

S2-2 シグナルかく乱作用のダイナミクスに基づくヒト発生毒性の評価法とその発達神経毒性への応用

大久保佑亮 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部

S2-3 ツメガエルを用いた器官形成における細胞骨格制御機構の解明

鈴木 誠 広島大学 両生類研究センター 大学院統合生命科学研究科

シンポジウム 3

7月29日(土) 16:30 ~ 18:10

S3 頭蓋顎顔面発生研究の最前線

座長：井関 祥子（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子発生・口腔組織学分野）

大内 淑代（岡山大学学術研究院医歯薬学域細胞組織学）

S3-1 Twist1 ヘテロ接合マウスを用いた冠状縫合早期癒合症の研究

○塗 隆志¹⁾、武井明日香¹⁾、柴田 雅朗²⁾、井関 祥子³⁾、上田 晃一¹⁾

- 1) 大阪医科薬科大学
- 2) 大阪医科薬科大学 医学部 生命科学講座 解剖学教室
- 3) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子発生学分野

S3-2 鰓弓と咽頭の形成 —表情筋発生の細胞系譜解析からみえてきた哺乳類頭部形成—

○足立 礼孝¹⁾、ジー ケリー ロバート²⁾、井関 祥子¹⁾

1) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子発生・口腔組織学分野

2) エクス=マルセイユ大学 マルセイユ発生生物学研究所

S3-3 口蓋の癒合のメカニズム

山城 隆 大阪大学大学院 歯学研究科 顎顔面口腔矯正学講座

S3-4 モデルマウスを用いた新規ヒト過成長症候群の頭蓋顎顔面先天異常の解析と治療戦略

武内 俊樹 慶應義塾大学 医学部 小児科

シンポジウム 4

7月30日(日) 8:40~10:00

S4 NBRP シンポジウム：リソース・利活用例の紹介

座長：西村 有平 (三重大学大学院医学系研究科統合薬理学)

吉木 淳 (理化学研究所バイオリソース研究センター)

S4-1 NBRP ラットに寄託されている先天異常系統とラット生殖工学技術の開発

浅野 雅秀 京都大学大学院 医学研究科 附属動物実験施設

S4-2 ニワトリ・ウズラ：発生異常を示す家禽リソース

西島 謙一 東海国立大学機構・名古屋大学大学院 生命農学研究科

S4-3 次世代型メダカバイオリソース整備とその拠点形成：遺伝子型—表現型—環境相関の総合的理解を目指して

○成瀬 清¹⁾、四宮 愛¹⁾、亀井 保博²⁾、工樂 樹洋³⁾、岩波 礼将⁴⁾、
松田 勝⁴⁾

1) 基礎生物学研究所 バイオリソース研究室

2) 基礎生物学研究所 生命熱動態研究室

3) 国立遺伝学研究所 分子生命史研究室

4) 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター

S4-4 疾患特異的 iPS 細胞「難病に対する病態解明と治療法の開発」

林 洋平 理化学研究所 バイオリソース研究センター

教育講演

7月30日(日) 10:10～10:40

座長：佐藤 旭（一般財団法人残留農薬研究所毒性部生殖発生毒性研究室）
松本 清（武田薬品工業株式会社）

EL モデル動物と疾患を繋ぐ語彙基盤としてのオントロジー

梶屋 啓志 理化学研究所 バイオリソース研究センター

シンポジウム5

7月30日(日) 10:40～12:00

S5 胎児期・新生児期の診療現場から

座長：黒澤 健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

浜之上はるか（横浜市立大学大学院医学研究科産婦人科学学生殖発育病態学）

S5-1 着床前診断・出生前検査を巡る日本における現状

山中美智子 聖路加国際病院遺伝診療センター 女性総合診療部

S5-2 防ぎ得る先天性心疾患に伴う新生児・乳児死亡0を目指して 一石川県における取り組み—

○飯塚 崇¹⁾、鏡 京介¹⁾、岩崎 秀紀²⁾、中村 太地²⁾、山崎 玲奈¹⁾、
松岡 歩¹⁾、細野 隆¹⁾、齋藤 美穂¹⁾、濱 郁子²⁾、三谷 裕介²⁾、
藤原 浩¹⁾

1) 金沢大学附属病院 産婦人科

2) 金沢大学附属病院 小児科

S5-3 新生児・乳児遺伝性胆汁うっ滞症における診療の現状と今後

今川 和生 筑波大学 医学医療系 小児科学

特別講演2

7月30日(日) 13:20～14:20

座長：鈴木堅太郎（山梨大学生命環境学部生命工学科）

仲柴 俊昭（理化学研究所バイオリソース研究センター）

SL-2 外生殖器形成の謎：モデル動物研究のフロントライン

山田 源 和歌山県立医科大学

S6 妊娠と薬剤 —多発性硬化症治療剤—

座長：林 昌洋 (虎の門病院薬剤部)
下村 和裕 (第一三共株式会社)

S6-1 多発性硬化症 妊娠・出産のマネージメント

清水 優子 東京女子医科大学 医療安全科・脳神経内科

S6-2 多発性硬化症治療剤の生殖発生毒性試験

○下村 和裕、桑田 千春 第一三共株式会社

S6-3 多発性硬化症治療剤の疫学調査報告

畠山 史朗 山形大学 医学部附属病院 薬剤部

S7 医薬品の安全性 —催奇形性リスクの最小化—

座長：村島 温子 (国立成育医療研究センター)
下村 和裕 (第一三共株式会社)

S7-1 医薬品リスク管理計画とは

林 昌洋 虎の門病院 薬剤部

S7-2 ミコフェノール酸モフェチルの生殖発生毒性試験結果

片桐 龍一 中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部

S7-3 ミコフェノール酸モフェチルの疫学調査報告

藤岡 泉 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター

S7-4 セルセプト[®] 医薬品リスク管理計画 (RMP)

古野 悠子 中外製薬株式会社

一般演題（ポスター）

コアタイム：(奇数番号) 7月28日(金) 18:00～19:00
(偶数番号) 7月29日(土) 18:10～19:10

- P-1** 代替ビスフェノール fluorene-9-bisphenol の甲状腺関連指標と胎仔発生への影響評価
○石田 慶士、目加田京子、松丸 大輔、中西 剛
岐阜薬科大学 衛生学研究室
- P-2** 化学物質誘導性の母体甲状腺機能低下による甲状腺関連指標の変動と胎仔発生への影響評価
○糟谷佐保里¹⁾、目加田京子¹⁾、小泉茉奈海¹⁾、石田 慶士¹⁾、松丸 大輔¹⁾、村嶋 重紀²⁾、諫田 泰成³⁾、中西 剛¹⁾
1) 岐阜薬科大学 衛生学研究室
2) 岐阜薬科大学 薬理学研究室
3) 国立医薬品食品衛生研究所
- P-3** 新規トリプルノックインレポーターシステムを用いたマウス原腸胚における三胚葉形成の評価系の確立
○鈴木 颯、村田 知弥、大徳 陽子、谷本 陽子、水野 聖哉、杉山 文博
筑波大学 医学医療系 トランスボーダー医学研究センター 生命科学動物資源センター
- P-4** 医薬品の生殖発生毒性評価におけるノックアウトマウスモデルの有用性の検討
○磯部 雄司¹⁾、カトリン ナターシャ²⁾、ステム クリスティン²⁾、ボウマン クリストファー²⁾、カンピオン サラ²⁾、ノーランド ウイリアム²⁾、カボン グレグ²⁾
1) ファイザー R&D 合同会社
2) ファイザー社
- P-5** SD ラットを用いた Zanthoxylum piperiti Folium et Ramulus 葉の 95% エタノール粘性抽出液の生殖発生毒性試験
○南 春子¹⁾、Kang Han-il¹⁾、Jang Seon-Hyeong^{1,3)}、Kim Sun-Don¹⁾、Park Eun-Sung¹⁾、Lee Hyun-Kul¹⁾、Lee Pil-Goo²⁾、Kim Yun-Bae³⁾
1) CORESTEMCHEMON (株) 非臨床研究所
2) Mecocxuremed (株)
3) 忠北大学大学院 獣医学科 獣医毒性学教室
- P-6** Retinoid signaling is functionally required for the frontonasal primordial patterning
○徐 林、黒坂 寛、辻本 貴行、犬伏 俊博、山城 隆
大阪大学 大学院 歯学研究科 顎顔面口腔矯正学教室

P-7 ゼブラフィッシュ胚における頭部神経堤細胞のライブイメージングと発生動態に基づく催奇形性発現機序の解析

○劉 舒捷¹⁾、河西 通²⁾、島田 敦子²⁾、葭原 啓太¹⁾、池田 直弘¹⁾、額田 祐子¹⁾、山根 雅之¹⁾、宮澤 正明¹⁾、武田 洋幸²⁾、田崎 純一¹⁾

1) 花王株式会社安全性科学研究所

2) 東京大学大学院 理学系研究科生物科学専攻

P-8 ゼブラフィッシュモデルを用いた微量鉛による発生影響の評価

○蔣池 勇太、松岡 雅人

東京女子医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学

P-9 ウサギへのサリドマイド経口投与による精漿を介する発生毒性発現リスクの解明

○桑形麻樹子¹⁾、高島 宏昌²⁾、長谷川拓郎³⁾、田中加奈子²⁾、羽田 亮²⁾、山崎 浩史⁴⁾、北嶋 聡¹⁾

1) 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部

2) 株式会社 ボゾリサーチセンター 御殿場研究所

3) 株式会社 ボゾリサーチセンター つくば研究所

4) 昭和薬科大学 薬物動態学研究室

P-10 ラット胎盤における薬物輸送体 MATE1 の発現が胎盤透過の動物種差に及ぼす影響

○鈴木あしゅかん、山内 青依、橋本理梨佳、野口 幸希、西村 友宏、登美 斉俊

慶應義塾大学 薬学部 薬剤学講座

P-11 培養ラット胎児への抗ウイルス剤の影響

○横山 篤¹⁾、秋田 正治²⁾、横山 仁³⁾

1) 神奈川生命科学研究所

2) 鎌倉女子大学

3) ボルチモア大学環境センター

P-12 マウス胎仔期の拘束ストレス負荷は脳の形態形成や機能発達に影響を及ぼす

○友江つかさ、今井 風花、駒田 致和

近畿大学大学院 総合理工学研究科 理学専攻

P-13 新生仔期フェレット小脳皮質の神経新生に及ぼすバルプロ酸曝露の変化

○神谷 汐里^{1,2)}、小林 哲也¹⁾、澤田 和彦³⁾

1) 埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学コース

2) 晃陽看護栄養専門学校

3) つくば国際大学 医療保健学部 保健栄養学科

P-14 Poly (I:C) のマウス胎仔期曝露は神経新生の異常による集団環境下での発達障害に関連する行動異常を誘発する

○駒田 致和、桐山 新菜、杉山 礼、四方 琢真、芳坂 妙善

近畿大学 理工学部 生命科学科

P-15 ウサギ胎児の骨格検査における X 線マイクロ CT の活用

○泉 雅大、伊原 良、細川 義典、松本 美咲、南 健太、
岩下 勝将、浅野 敬之

住友化学株式会社 生物環境科学研究所

P-16 精巣機能障害の高感度検出に資する小動物用 MRI を用いた非侵襲的画像診断法の開発

○横田 理¹⁾、平井 俊範²⁾、菅 康佑¹⁾、若山 友彦²⁾、宮宗 秀伸³⁾、
高橋 祐次¹⁾、北嶋 聡¹⁾

1) 国立医薬品食品衛生研究所 毒性部

2) 熊本大学大学院 生命科学研究部

3) 国際医療福祉大学 医学部

P-17 ヒト顎裂部への人工骨移植術の臨床的評価

○伊東 雅哲、井村 英人、北川 健、吉田 磨弥、佐久間千里、
秋山 泰範、秋山 友樹、夏目 長奈、夏目 長門

愛知学院大学 歯学部 口腔先天異常学研究室

P-18 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究 第 71 報：東海地区における 2021 年の本症出生調査報告

○夏目 長奈^{1,2)}、井村 英人^{1,2)}、佐久間 千里^{1,2)}、新美 照幸^{1,2)}、南 克浩^{1,2)}、
吉田 磨弥^{1,2)}、早川 統子^{1,2)}、鈴木 聡^{1,2)}、齋藤 直樹^{1,2)}、藤原 久美子^{1,2)}、
吉田 和加³⁾、北川 健^{1,2)}、伊東 雅哲^{1,2)}、秋山 泰範^{1,2)}、秋山 友樹^{1,2)}、
三輪 亮輔^{1,2)}、古川 博雄^{1,2)}、夏目 長門^{1,2)}

1) 愛知学院大学 歯学部 口腔先天異常学研究室

2) 愛知学院大学歯学部附属病院 口唇口蓋裂センター

3) 愛知学院大学 歯学部 口腔病理学講座

P-19 本邦における先天異常モニタリングによって得られた外表奇形等の動向

○倉澤健太郎¹⁾、齋藤 真^{1,3)}、浜之上はるか¹⁾、宮城 悦子¹⁾、
平原 史樹^{2,3)}、石渡 勇³⁾

1) 横浜市立大学産婦人科

2) クリアリングハウス国際モニタリングセンター日本支部

3) 日本産婦人科医会

P-20 口蓋裂患児に対する早期言語訓練に関する研究 —第1報 WPPSI 知能検査による分析—

○森 智子¹⁾、井上知佐子^{1,2,3)}、早川 統子^{1,2)}、辻内 史恩^{2,3)}、紅 順子¹⁾、
新美 照幸^{1,2,3)}、井村 英人^{1,2,3)}、三輪 亮輔^{1,2,3)}、夏目 長奈^{1,2,3)}、
夏目 長門^{1,2,3)}

- 1) 愛知学院大学 歯学部 口腔先天異常学研究室
- 2) 愛知学院大学歯学部附属病院 言語・口腔機能発達外来部門
- 3) 愛知学院大学歯学部附属病院 口唇口蓋裂センター

P-21 雌性成長遅延症マウスのロードーシス行動

○小林 健一^{1,2)}、田名網幸伸²⁾、溝端 裕亮^{2,3,4)}、町田 武生²⁾、小林 哲也²⁾

- 1) 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
- 2) 埼玉大学理学部生体制御学科
- 3) 防衛医科大学校生理学講座
- 4) 航空自衛隊航空医学実験隊

P-22 理研 BRC から提供可能な先天異常研究に有用なマウス系統

○水野 沙織、中田 初美、仲柴 俊昭、綾部 信哉、吉木 淳

理化学研究所 バイオリソース研究センター 実験動物開発室

P-23 生理的臍帯ヘルニア期のヒト中腸ループと腸間膜の経時的構造変化

○石田 七彩¹⁾、植田 優生¹⁾、松林 潤²⁾、金橋 徹¹⁾、今井 宏彦³⁾、
山田 重人^{1,4)}、高桑 徹也¹⁾

- 1) 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 形態形成基礎医療科学
- 2) 滋賀医科大学 医学部附属病院 臨床研究開発センター
- 3) 京都大学 大学院情報学研究科 システム科学コース
- 4) 京都大学 大学院医学研究科 附属先天異常標本解析センター

P-24 MRI を用いたヒト胎児における腱画形成過程の解析

○岩佐 結生¹⁾、金橋 徹¹⁾、今井 宏彦²⁾、大谷 浩³⁾、松林 潤⁴⁾、
高桑 徹也¹⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
- 2) 京都大学大学院 情報学研究科 システム科学コース
- 3) 島根大学 副学長
- 4) 滋賀医科大学 臨床研究開発センター

P-25 胎生後期・発育期の ACTH 過剰は腎尿細管面積を増大させる

○小林 理恵¹⁾、小川 典子^{1,2)}、三田奈々子²⁾、中崎奈々恵²⁾、福永 昇平³⁾、
松本 暁洋⁴⁾、大谷 浩²⁾、藤田 幸²⁾、八田 稔久⁵⁾、金崎 啓造¹⁾

- 1) 島根大学 医学部 内科学講座内科学第一
- 2) 島根大学 医学部 解剖学講座 発生生物学
- 3) 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
- 4) 島根県立大学 看護栄養学部 健康栄養学科
- 5) 金沢医科大学 解剖学 1

- P-26** 造影 X 線 CT を用いたマウス胚性致死表現系パイプラインの構築
○澁谷 仁寿、及川 智菜、小澤 恵代、田村 勝
理化学研究所 バイオリソース研究センター マウス表現型解析技術室
- P-27** 幹細胞内耳発生系を活用した新規発生毒性試験の予備的検討
○岡本 優、熊本 隆之
奥羽大学 薬学部
- P-28** *BMPER* 新規バリエーションによる diaphanospondylodysotosis の 1 例
○齋藤 洋子¹⁾、黒田友紀子¹⁾、榎本 友美²⁾、黒澤 健司^{1,2)}
1) 神奈川県立こども医療センター 遺伝科
2) 神奈川県立こども医療センター 臨床研究所
- P-29** マイクロ RNA およびプロモーター領域に着目した過剰肋骨の系統差の解析
○熊本 隆之、秋山 知穂
奥羽大学 薬学部
- P-30** X 線照射による下顎形成障害における DNA 損傷応答と葉酸の保護作用機構解析
○八十島左京¹⁾、小岩 純子¹⁾、白水 崇¹⁾、鹿島 誠²⁾、西村 有平¹⁾
1) 三重大学 大学院 医学系研究科 統合薬理学
2) 東邦大学 理学部 生物分子科学科
- P-31** 咽頭喉頭領域の発生に対するレチノイン酸シグナルの影響についての検討
○夏山 昌大、黒坂 寛、Xu Lin、犬伏 俊博、山城 隆
大阪大学 歯学部 歯学研究科 顎顔面口腔矯正学教室
- P-32** カニクイザル大脳皮質における脳溝形成の左右非対称性発達の性的二型性
○澤田 和彦¹⁾、齋藤 茂芳²⁾
1) つくば国際大学 医療保健学部 保健栄養学科
2) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
- P-33** 胎生期マウス由来のニューロスフェアを対象とした組織透明化技術の開発および 3 次元イメージング手法の検討
○茂田 大地¹⁾、友杉 充宏¹⁾、坂田ひろみ¹⁾、酒井 大輔²⁾、東海林博樹²⁾、八田 稔久¹⁾
1) 金沢医科大学 医学部 解剖学 1
2) 金沢医科大学 一般教育機構 生物学

P-34 心疾患発症に関わる新規 RNA 結合タンパクの in vivo スクリーニング

○三上 夏輝¹⁾、村田 知弥²⁾、依馬 朋香³⁾、岡村 永一⁴⁾、松本 翔馬⁴⁾、
依馬 正次⁴⁾、水野 聖哉²⁾、杉山 文博²⁾

- 1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究学群 ヒューマンバイオロジー学位プログラム
- 2) 筑波大学医学医療系 トランスボーダー医学研究センター 生命科学動物資源センター
- 3) 筑波大学大学院 人間総合科学研究学群 フロンティア医科学学位プログラム
- 4) 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター

P-35 ヒルシスブルグ病モデルマウスを用いた包括的な表現型解析

○天野 孝紀¹⁾、吉田 圭介²⁾、田村 勝³⁾

- 1) 理化学研究所 バイオリソース研究センター 次世代ヒト疾患モデル研究開発チーム
- 2) 日本医科大学 先端医学研究所
- 3) 理化学研究所 バイオリソース研究センター マウス表現型解析技術室

P-36 実時間解析法による 1 細胞トランスクリプトーム配列を用いたヒト胎盤組織の体細胞変異解析

○太田 聡史¹⁾、阿部 訓也²⁾、横田 秀夫¹⁾、池尾 一穂³⁾

- 1) 理化学研究所 光子工学研究センター 画像情報処理研究チーム
- 2) 理化学研究所 バイオリソース研究センター
- 3) 国立遺伝学研究所 遺伝情報分析研究室

P-37 出生時 Pierre Robin syndrome と診断され、後に Stickler syndrome と判明した矯正歯科治療症例

○有方伸太郎、辻 美千子、宮崎 貴行、小林 幸穂、森山 啓司

東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野

P-38 Foxc1 欠失マウスの胎生期水頭症で認められた終脳底部の異常血管網形成における MMP9 の蓄積

○笹淵 愛乃¹⁾、吉本 由紀¹⁾、タニット プラシッサ²⁾、足立 礼孝¹⁾、
久米 努³⁾、大隅 典子⁴⁾、井関 祥子¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 分子発生・口腔組織学分野
- 2) ナレスワン大学 歯学部 口腔生物学分野
- 3) ノースウェスタン大学 医学研究科
- 4) 東北大学 医学系研究科 発生発達神経科学分野

P-39 先天異常学研究に利用可能な新規矮小変異マウスの樹立

○佐藤 貴弘¹⁾、大石 佳苗¹⁾、三浦 郁生²⁾、綾部 信哉³⁾、澁谷 仁寿²⁾、
若菜 茂晴⁴⁾、吉木 淳³⁾、田村 勝²⁾、児島 将康¹⁾

- 1) 久留米大学 分子生命科学研究所
- 2) 理化学研究所 バイオリソース研究センター マウス表現型解析技術室
- 3) 理化学研究所 バイオリソース研究センター 実験動物開発室
- 4) 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 動物実験飼育施設

P-40 カリウムチャンネル遺伝子 *KCNJ13* ノックアウト網膜色素上皮では酸化ストレスにより細胞死を生じる

○大内 淑代¹⁾、神崎 勇希^{1,2)}、藤田 洋史¹⁾、佐藤 恵太¹⁾、細川 海音²⁾、
松前 洋²⁾、森實 祐基^{2,3)}

- 1) 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 細胞組織学
- 2) 岡山大学病院 眼科学
- 3) 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 眼科学

P-41 ENU ミュータジェネシスによる新規チャージ症候群マウスモデルの作出と表現型解析

○古瀬 民生、三浦 郁生、金 順丹、串田 知子、及川 智菜、
山田 郁子、澁谷 仁寿、田村 勝

理化学研究所 バイオリソース研究センター マウス表現型解析技術室

P-42 Keppen-Lubinsky 症候群の初めての日本人症例報告

○榎本 友美¹⁾、黒田 友紀子²⁾、齋藤 洋子²⁾、黒澤 健司^{1,2)}

- 1) 神奈川県立こども医療センター 臨床研究所
- 2) 神奈川県立こども医療センター 遺伝科

P-43 ヌーナン様症候群患者で見出された *RRAS2* バリエントの *in vitro*, *in vivo* 解析

○要 匡¹⁾、飯田 貴也¹⁾、木村 哲晃^{2,3)}、郷 勇人⁴⁾、
五十嵐ありさ¹⁾、福永 夏絵^{1,5)}、青木 大芽¹⁾、柳 久美子¹⁾、
佐藤 万仁¹⁾、井ノ上逸朗²⁾、松原 洋一⁶⁾

- 1) 国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部
- 2) 国立遺伝学研究所 人類遺伝学
- 3) 国立長寿医療研究センター メディカルゲノムセンター
- 4) 福島県立医科大学 小児科学講座
- 5) 山口大学大学院医学系研究科 システムズ再生・病態医化学講座
- 6) 国立成育医療研究センター

P-44 RAP 組織透明化法の *in situ* hybridization への応用

○坂田ひろみ¹⁾、茂田 大地¹⁾、酒井 大輔²⁾、東海林博樹²⁾、友杉 充宏¹⁾、
八田 稔久¹⁾

- 1) 金沢医科大学 解剖学 I
- 2) 金沢医科大学 一般教育機構生物学